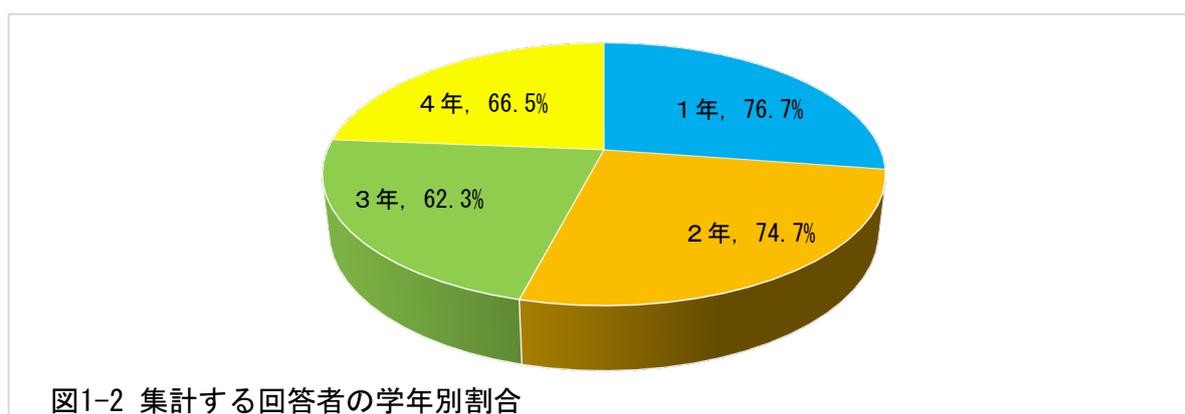
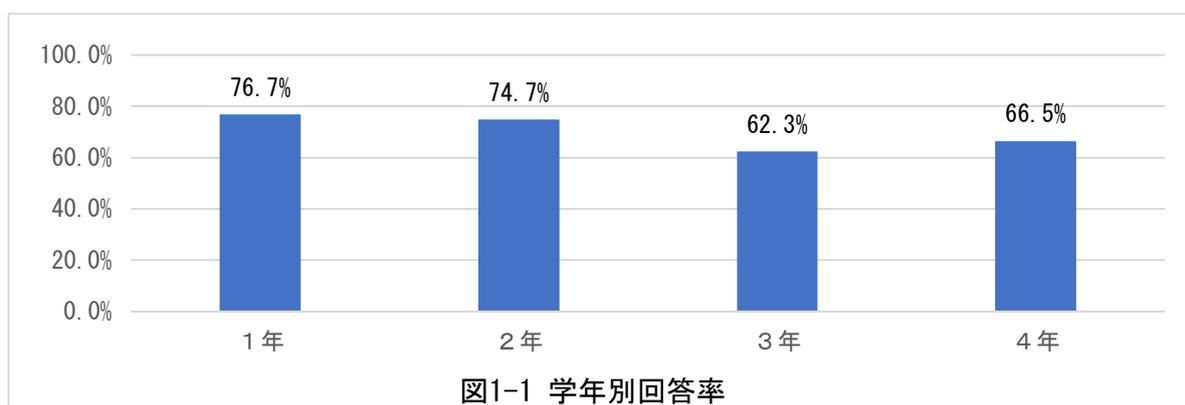


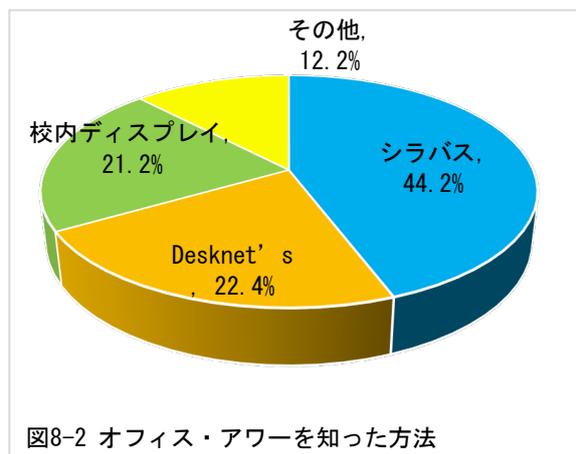
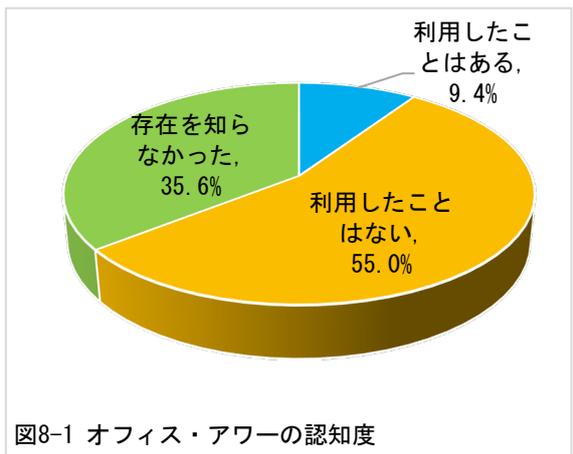
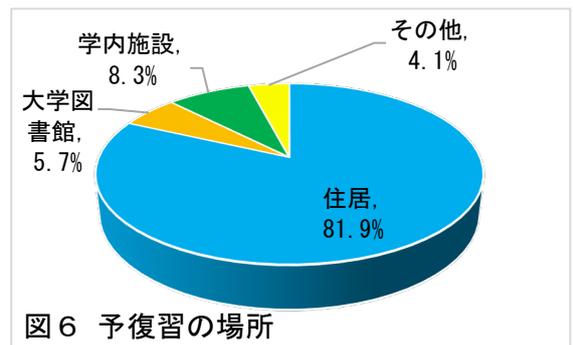
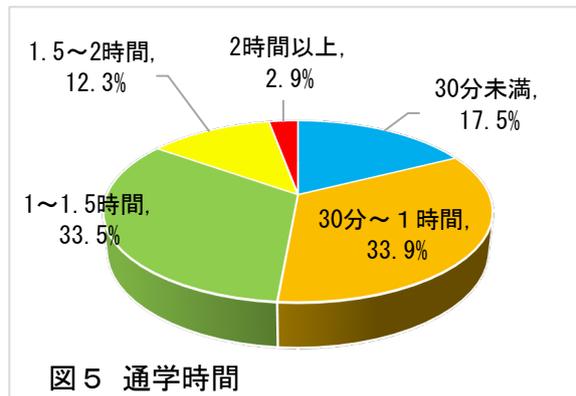
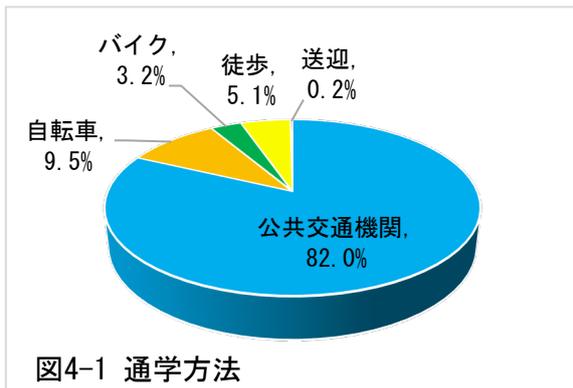
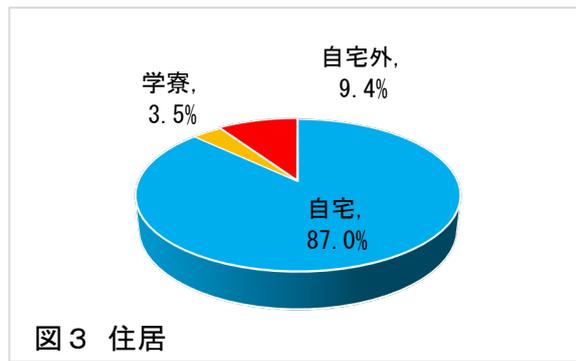
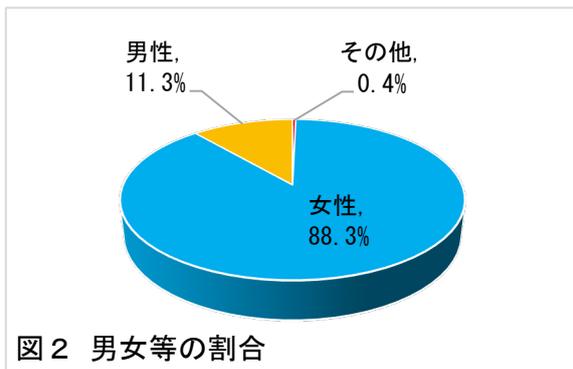
令和5年度 学生の学修に関する実態調査

令和5年度の実態調査は、全学部学生を対象とし、令和5年12月1日に在籍する学生に対して実施した。

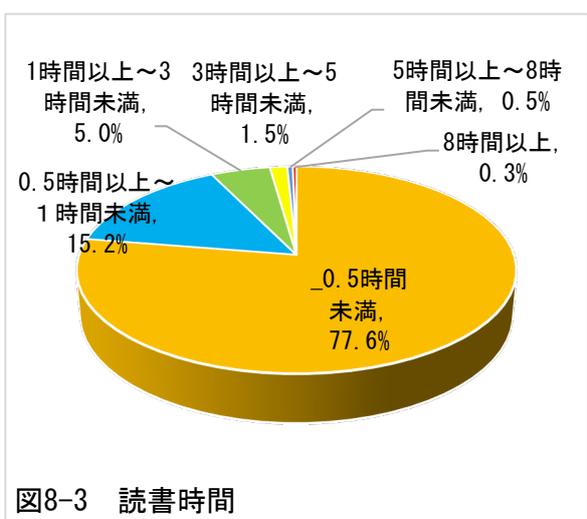
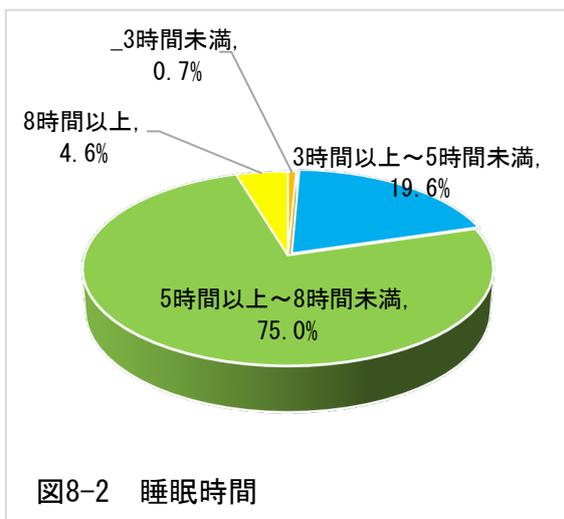
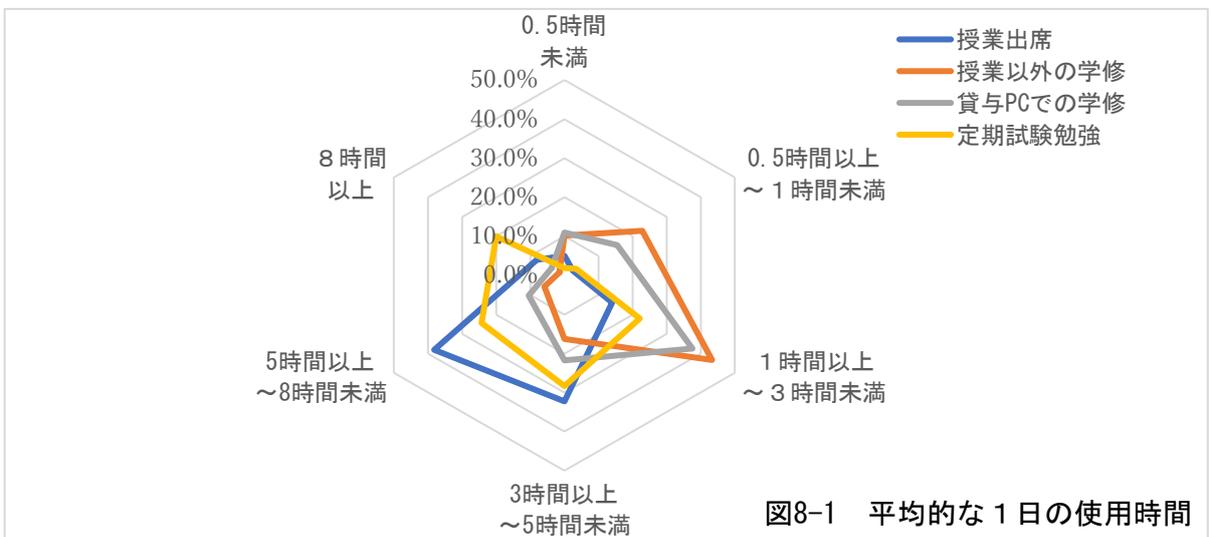
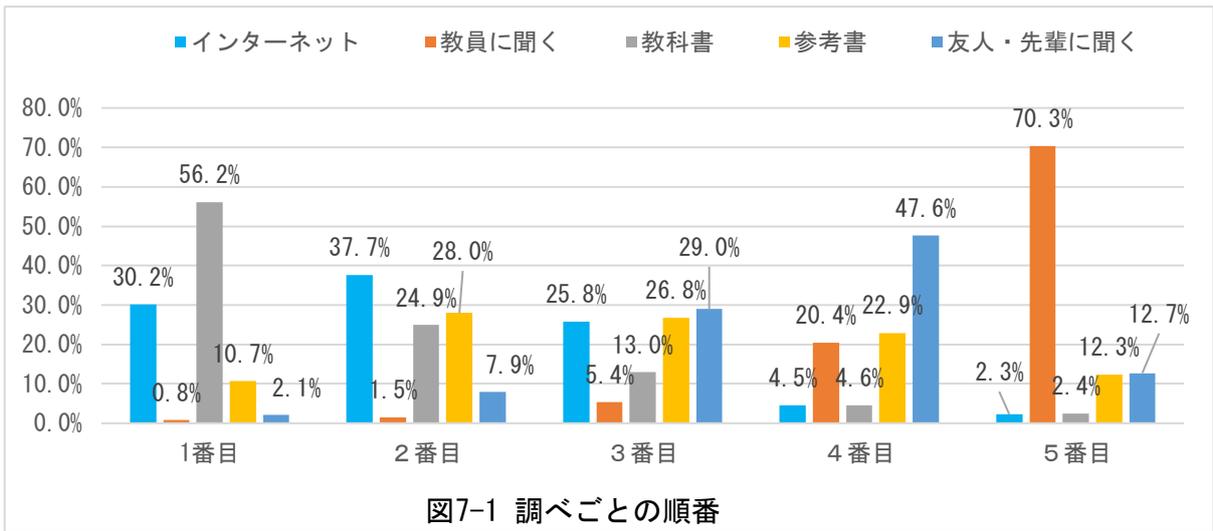
表1 回収率

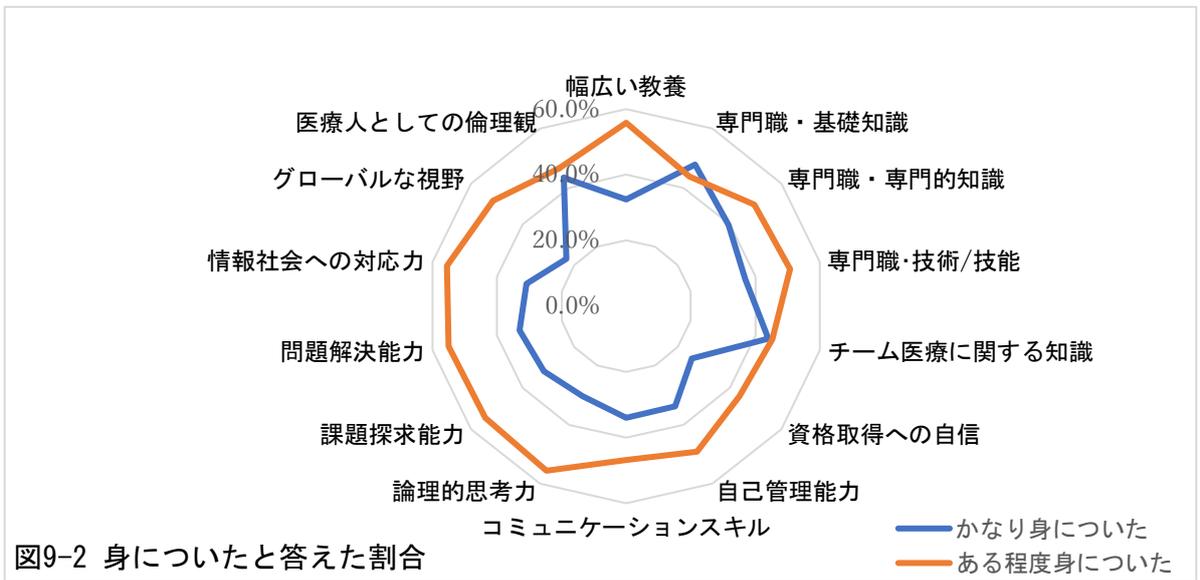
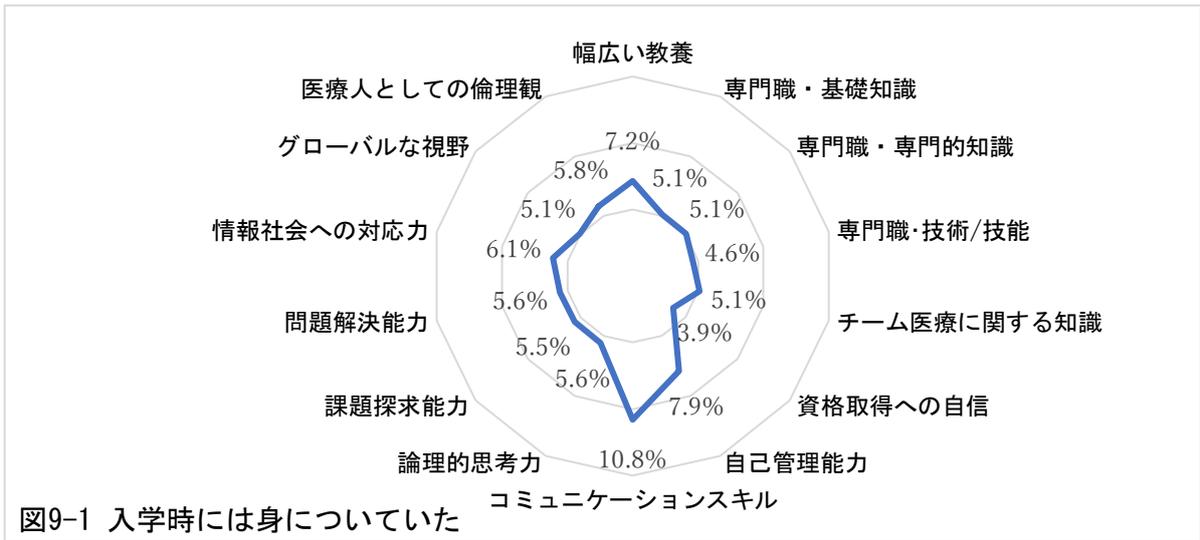
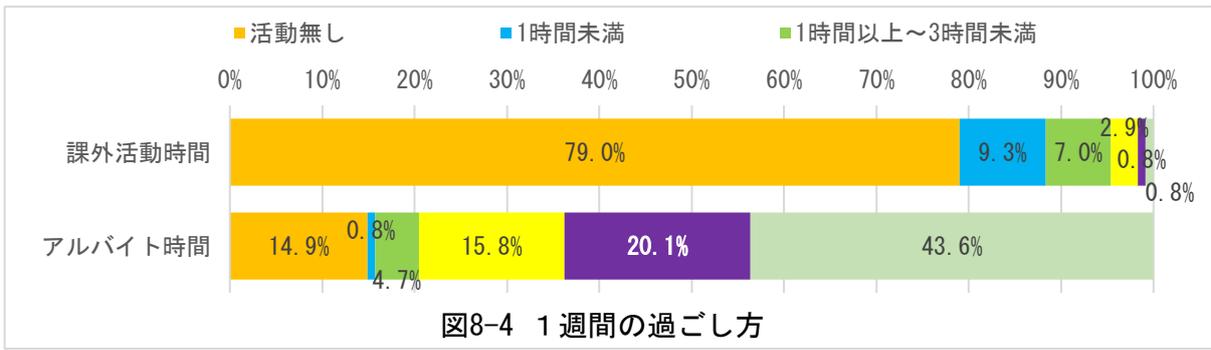
学部等		対象者数	回答者数	回答率
医療保健学部	看護学科	445	261	58.7%
	医療栄養学科	270	151	55.9%
	医療情報学科	250	114	45.6%
	計	965	526	54.5%
東が丘看護学部		450	342	76.0%
立川看護学部		455	448	98.5%
千葉看護学部		463	350	75.6%
和歌山看護学部		407	250	61.4%
全学計		2,740	1,916	69.9%





レポートや課題で、調べものをする時の情報源で優先する順位の回答





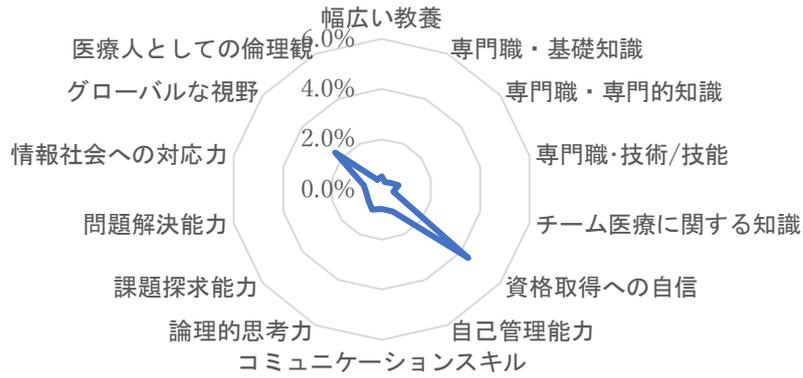


図9-3 全く身についていない

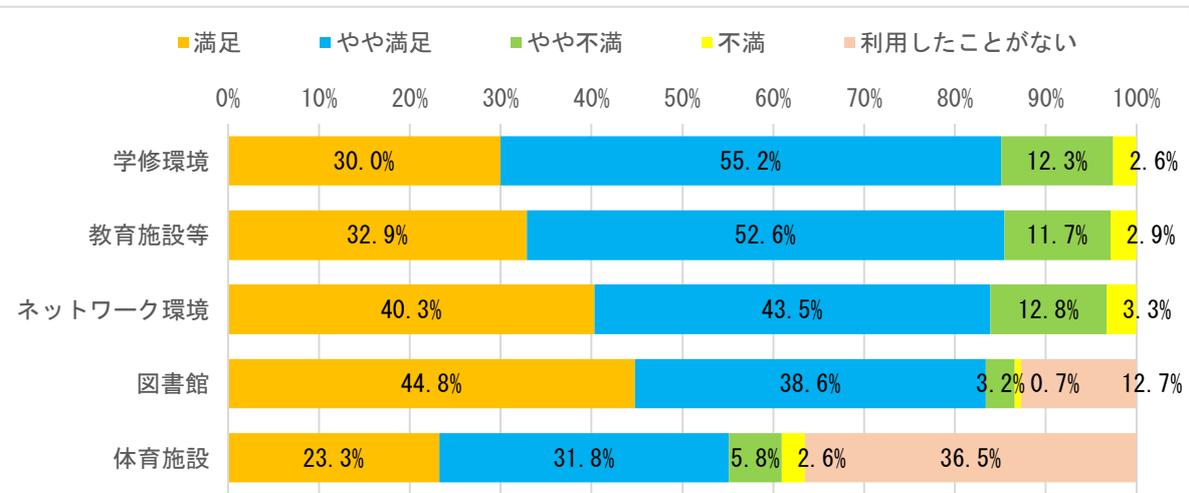


図10 学修環境の満足度

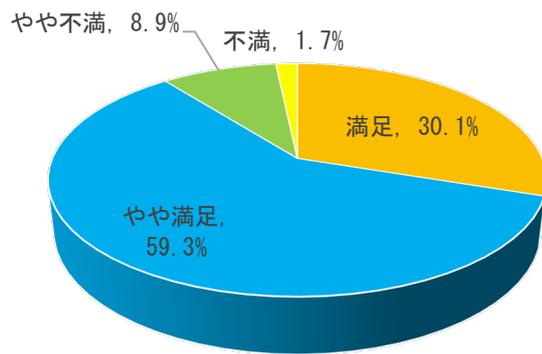
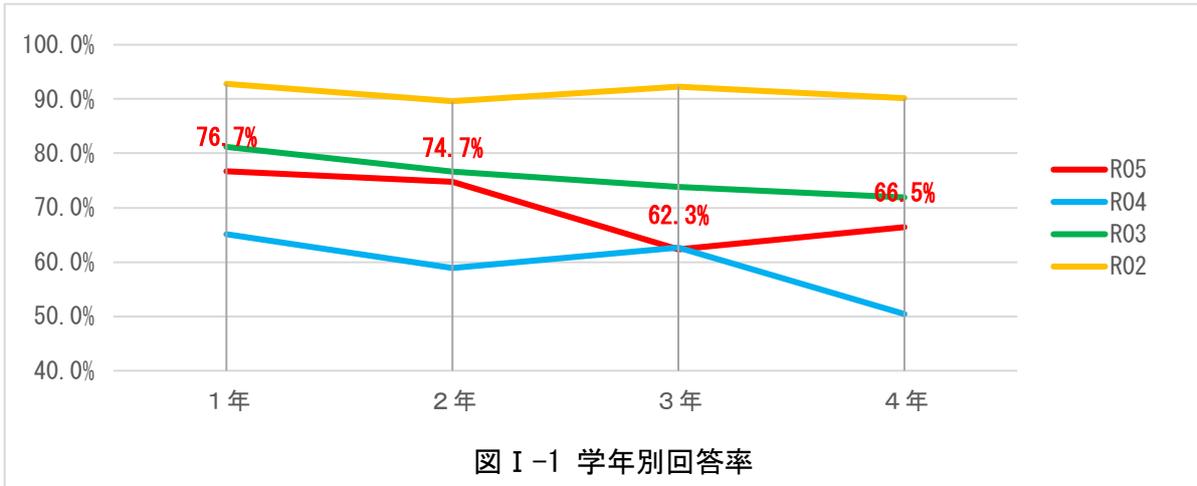
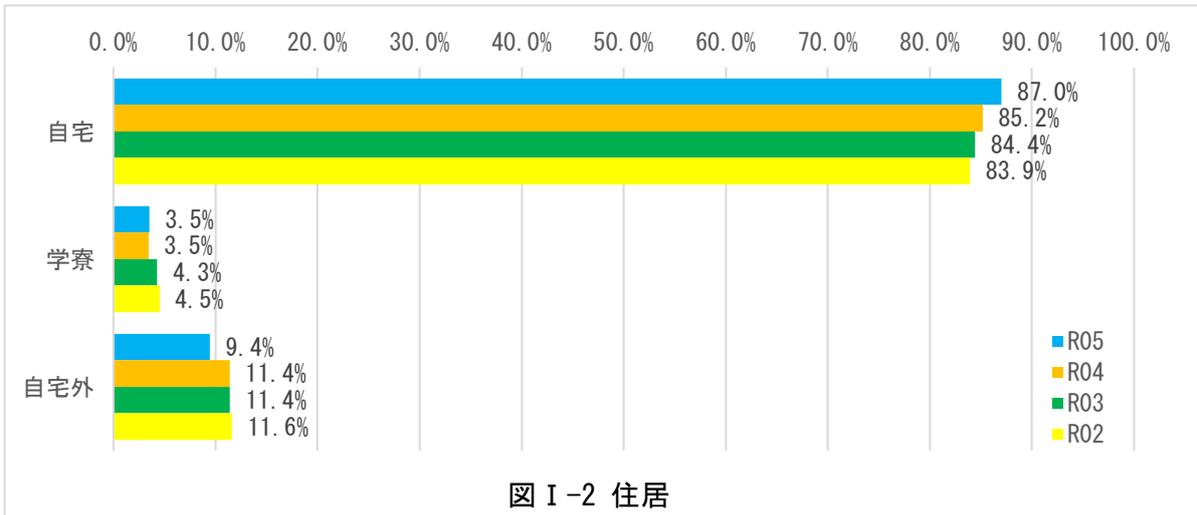


図11 総合満足度

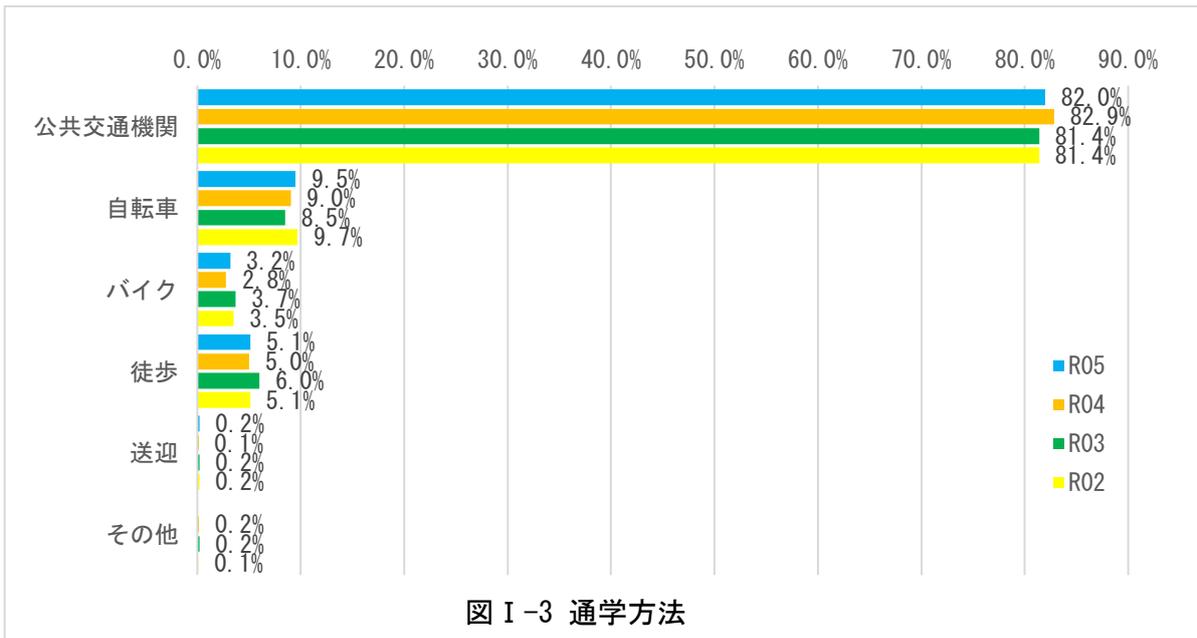
I. 過去調査との比較



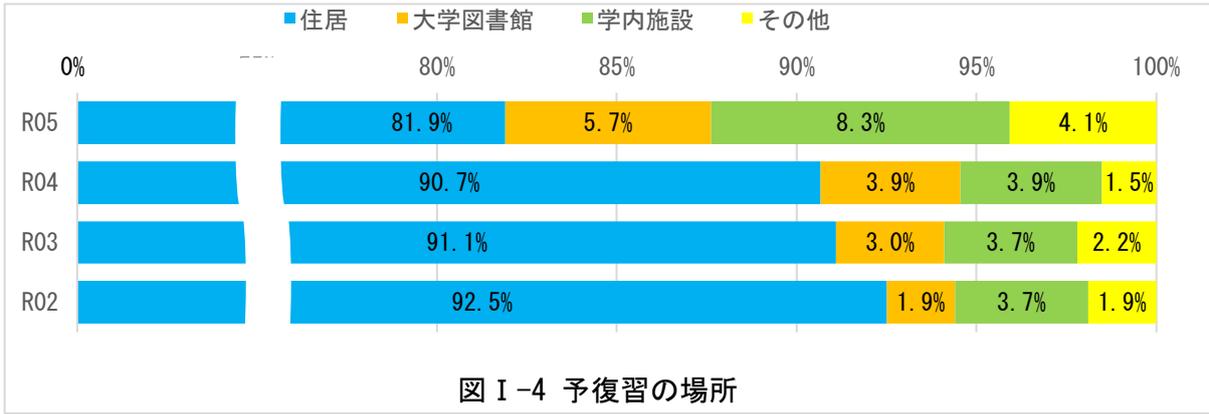
3年生を除き昨年(令和4年・2023年)より回収率が上がった。(図 I-1)



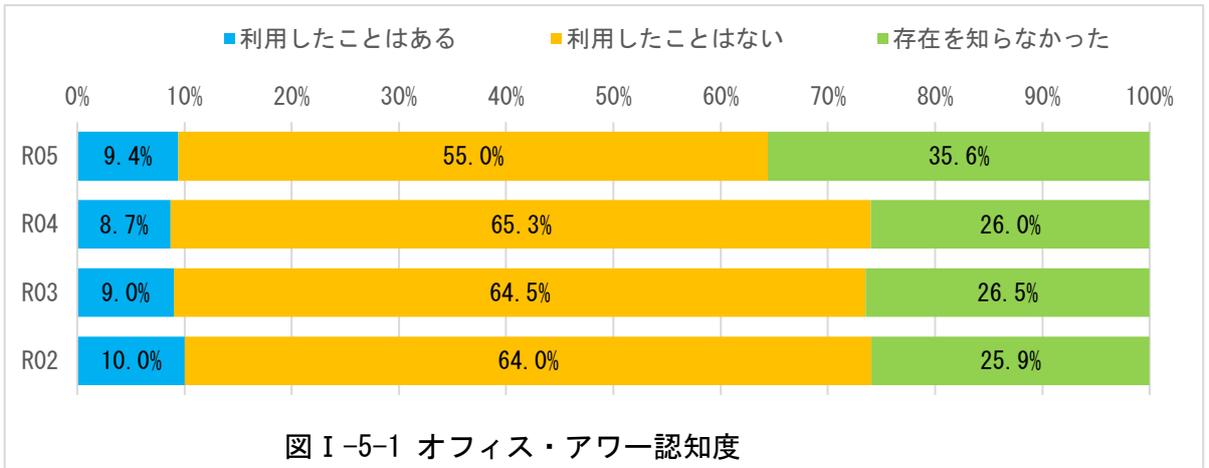
自宅から通う学生が年々増えている。(図 I-2)



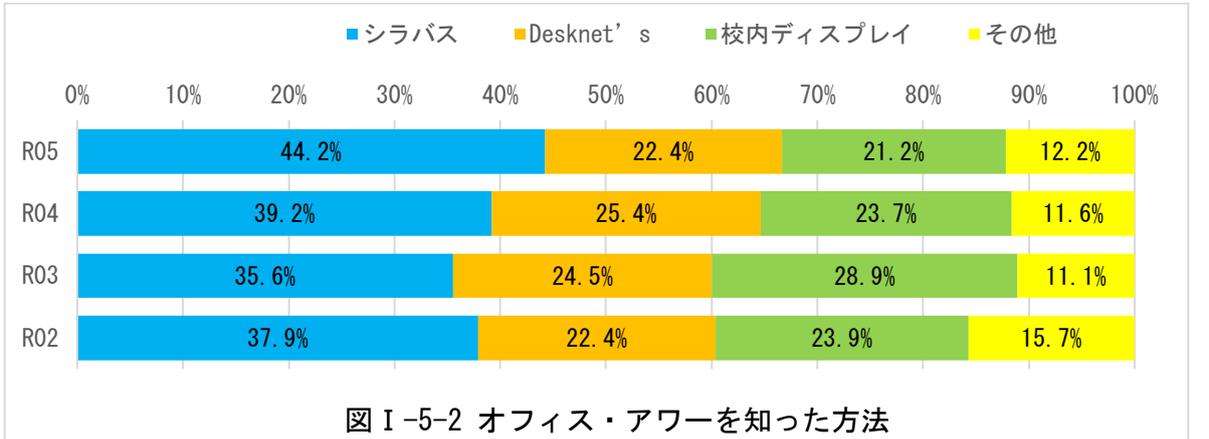
通学方法に大きな経年変化はなかった (図 I-3)



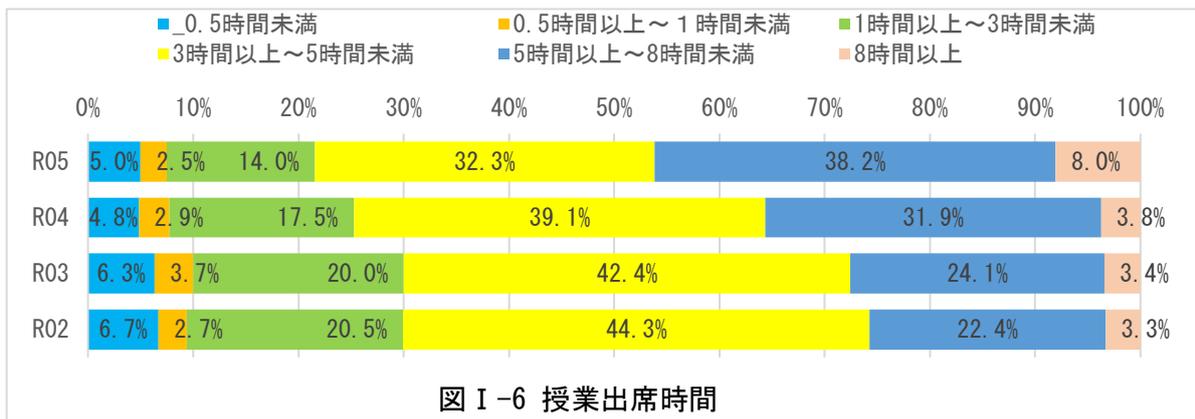
コロナの前の集計がないので、断定はできないが、活動レベルが、2023年（令和5年）4月より緩和されたことからか、授業以外の学修場所が自宅以外の割合が増えた。（図 I-4）



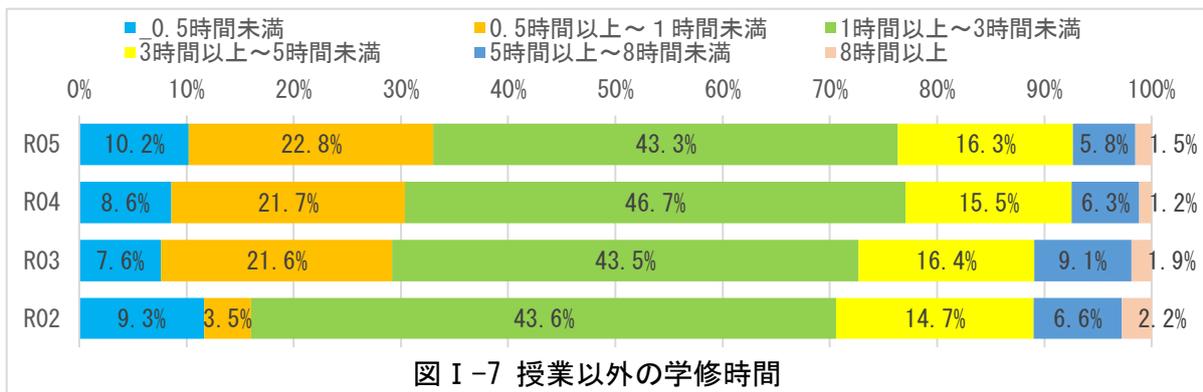
オフィスアワの存在を知らない学生が昨年より9.6ポイント（今年35.6%、昨年26.0%）増えた。（図 I-5-1）



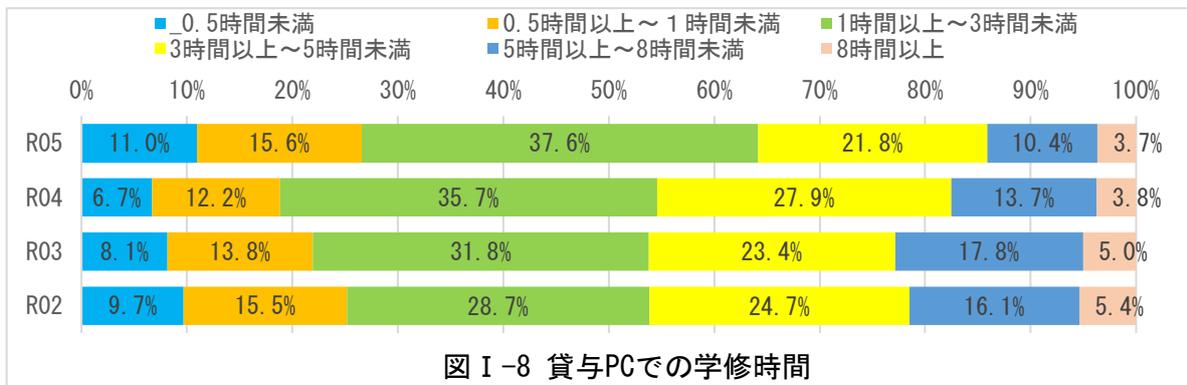
2020年（令和3年）以降、オフィス・アワーの存在をシラバスで知る学生が増えている。（図 I-5-2）



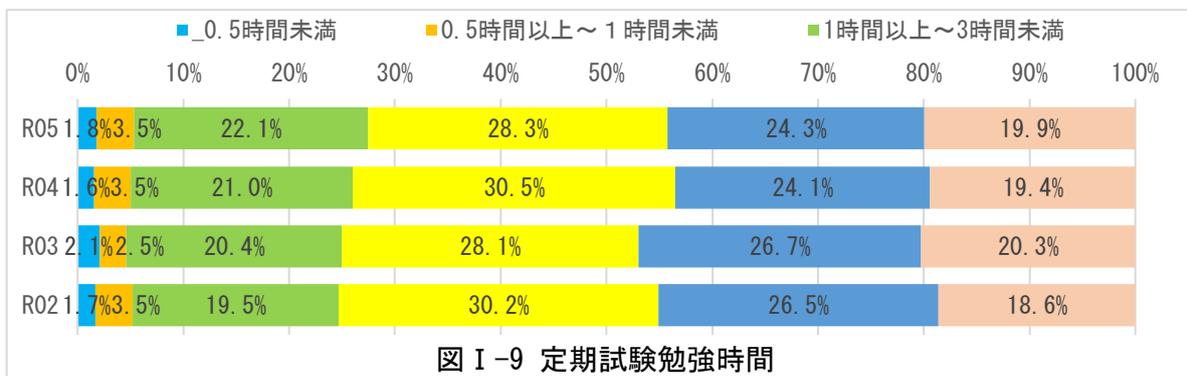
コロナの活動レベル（対面授業レベル）の軽減による影響か、授業出席時間を5時間～8時間未満と答えた学生が増加している。（図 I -6）

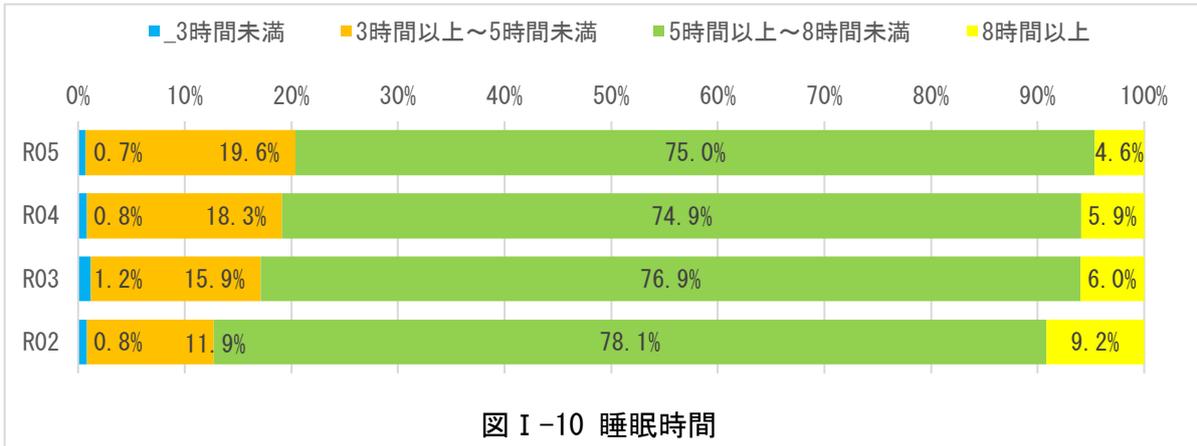


2020年（令和2年）を除き、授業以外の学修時間に大きな変化がなかった（図 I -7）

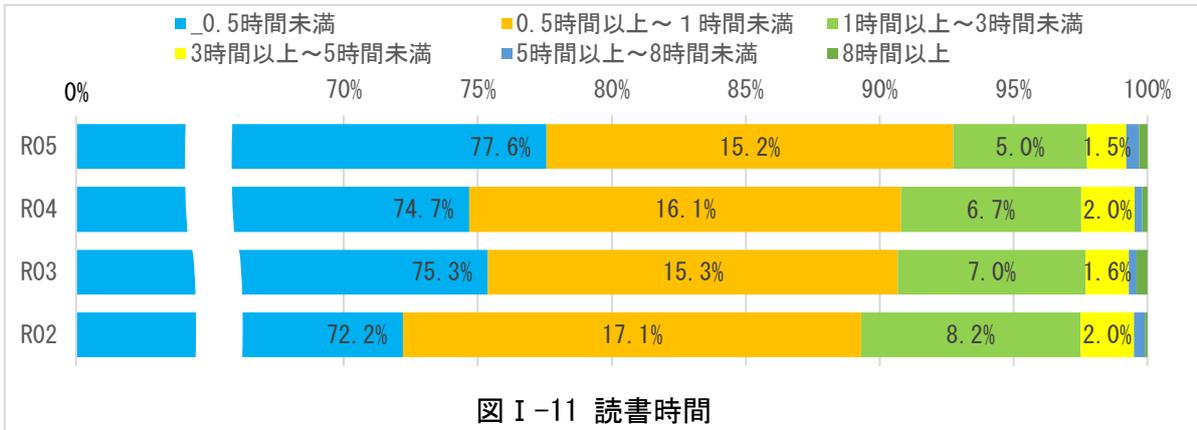


コロナの活動レベルが変更となり対面授業が増えた影響か、1時間以上の貸与PC使用時間の割合が減少している（図 I -8）

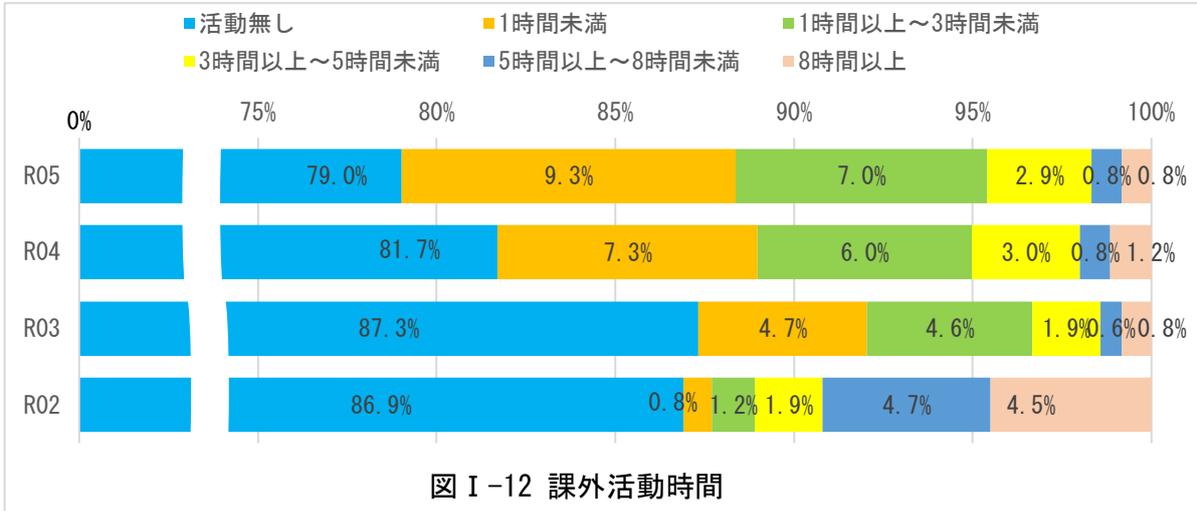




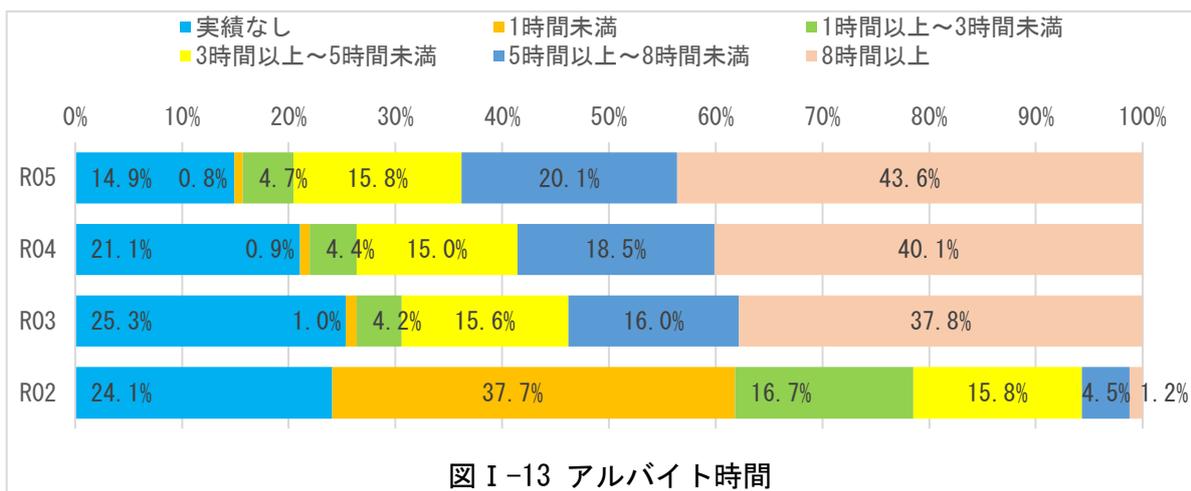
8時間以上の睡眠をしているとしている学生の回答割合が減少している（図 I -10）



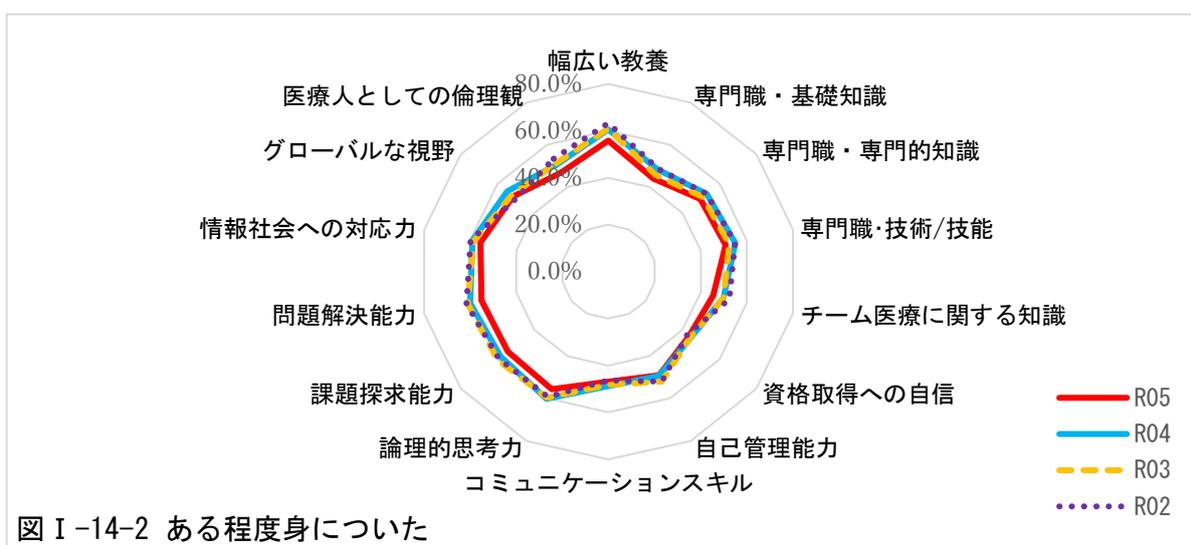
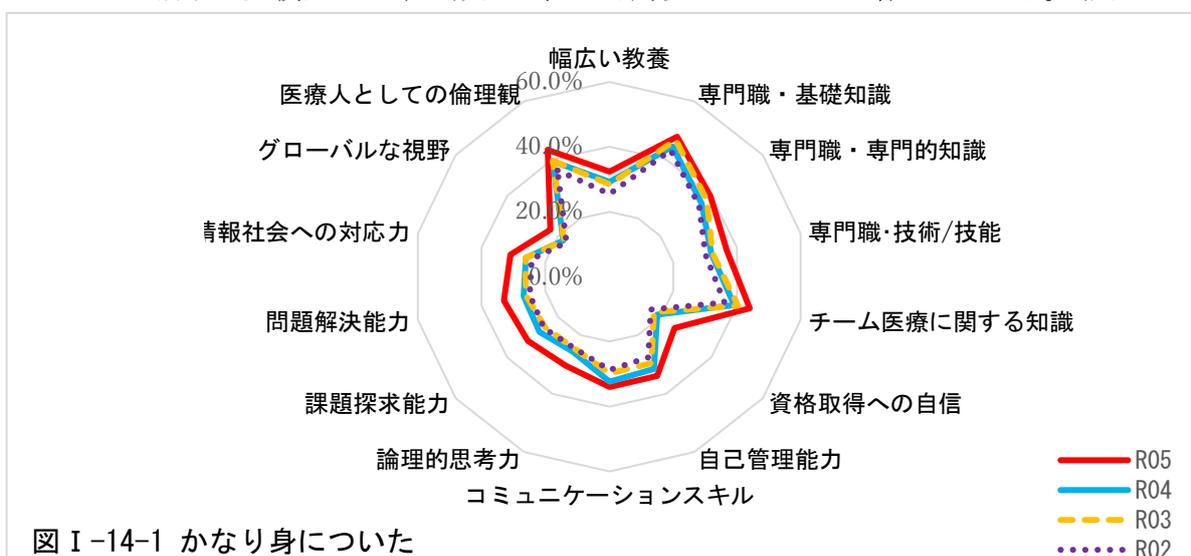
年々読書時間が減少している。（図 I -11）



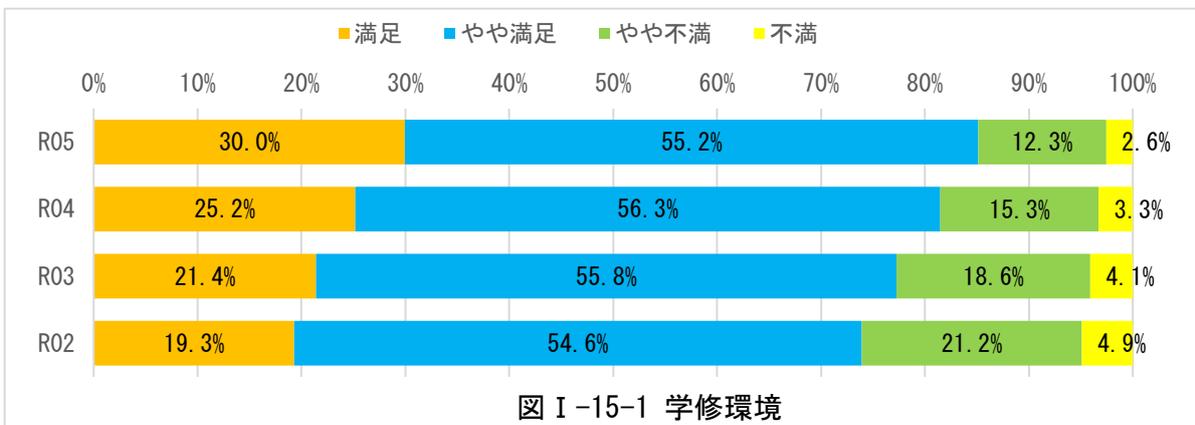
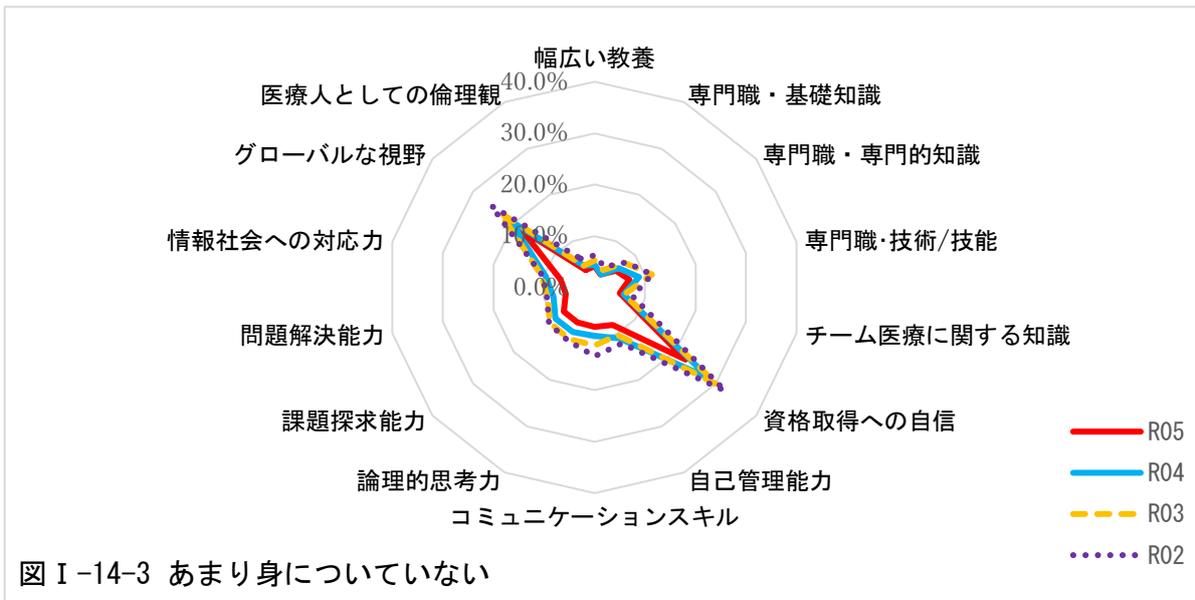
課外活動時間（サークル・ボランティア等）の活動無しの割合が年々減少している。（図 I -12）



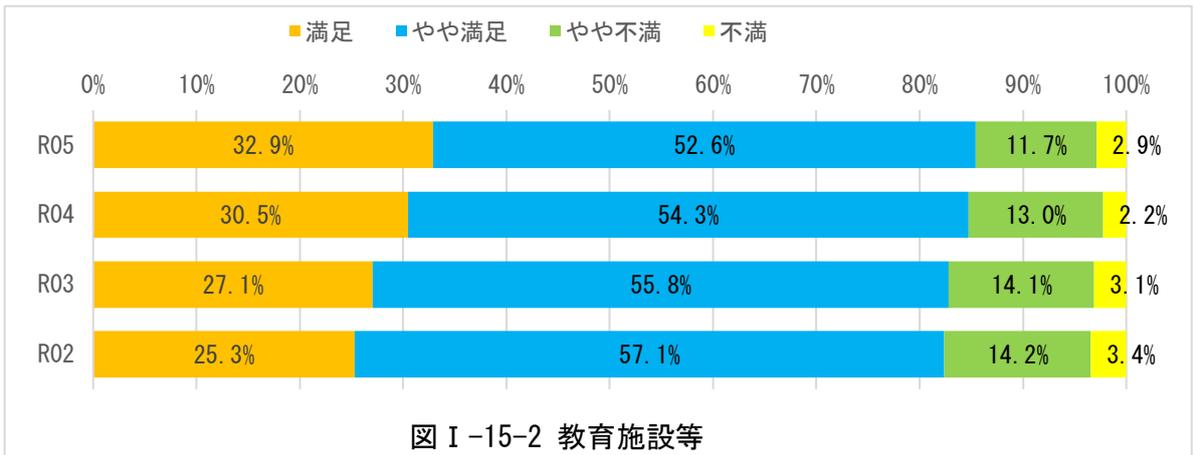
アルバイト活動の実績無しが年々減少し、8時間以上のバイトが増加している。(図 I-13)



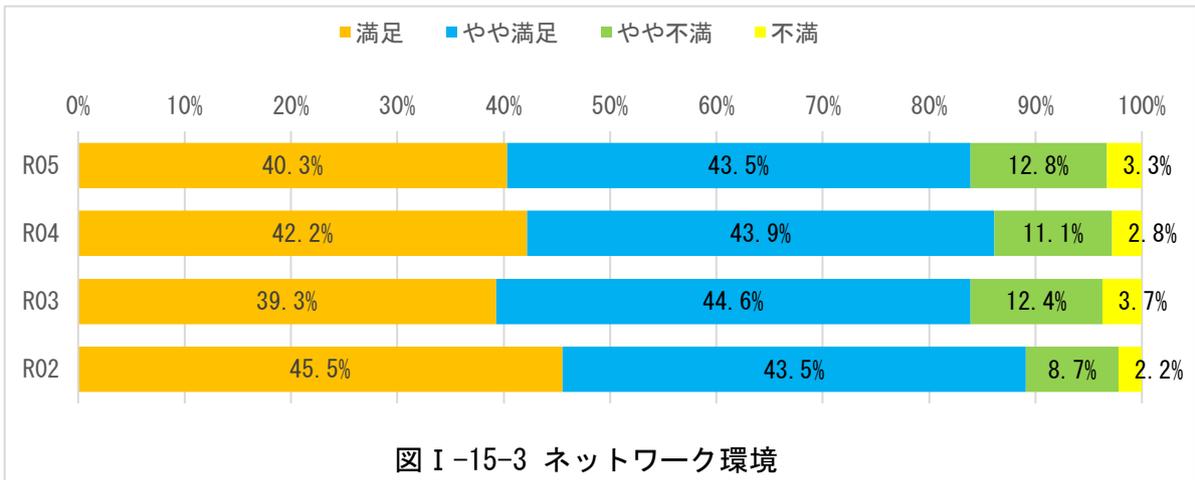
全ての項目で前年より「かなり身についた」と思った学生の割合が上昇し(図 I-14-1)、その分、「ある程度身についた」と回答した学生の割合が減少した(図 I-14-2)



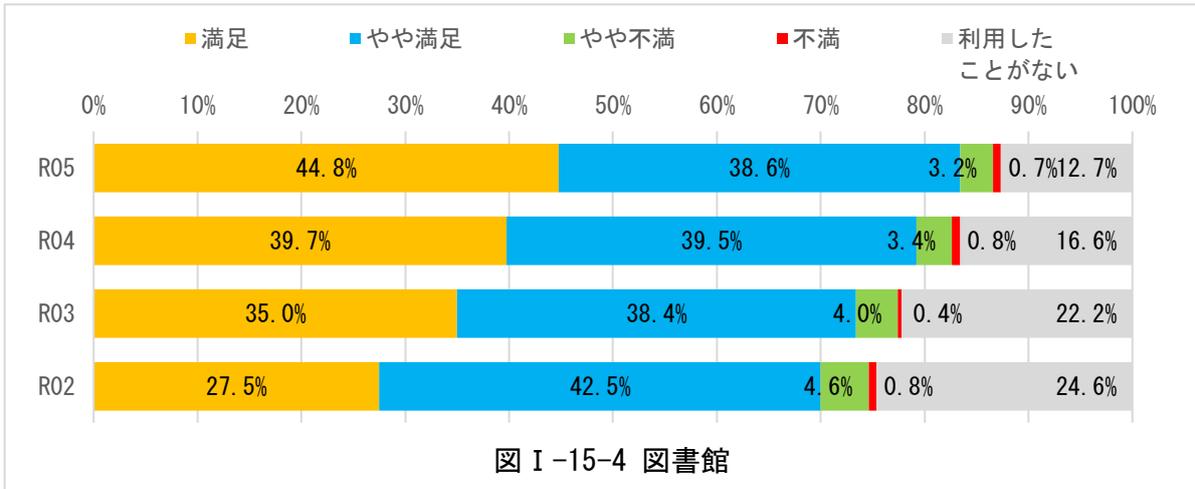
コロナ禍では、活動レベルの関係で登校できないため学修環境（食堂、学生ホール、大学図書館等）が利用できないことから不満が多く出されたが、8割の学生が満足（満足30.0%、やや満足55.2%）と回答し、昨年より3.7ポイント上昇した。（図 I-15-1）



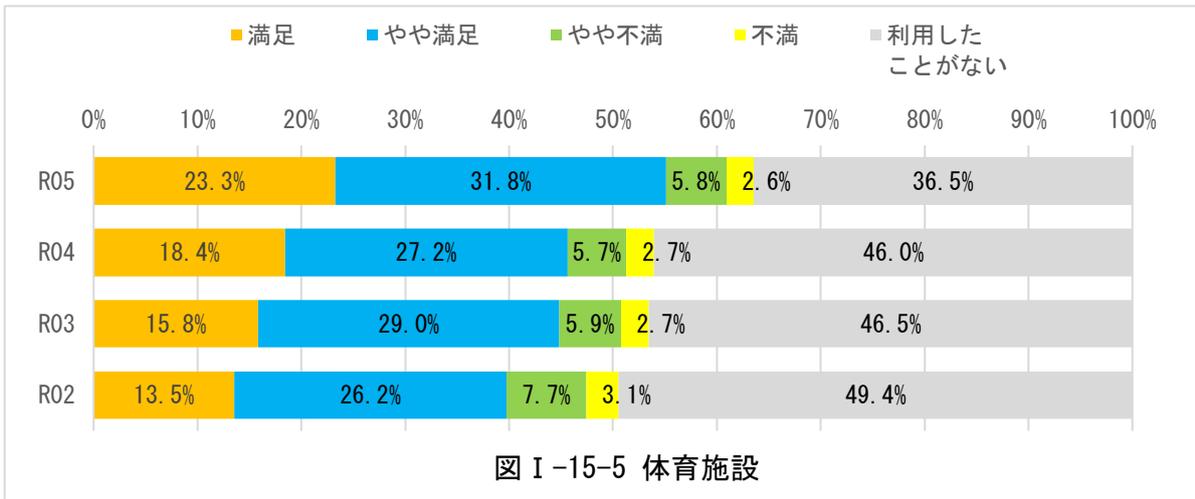
学修環境同様に、教育施設等（教室、演習室、実験室等の教育施設・設備・機械等）についても8割の学生が満足（満足32.9%、やや満足52.6%）と回答した（図 I-15-2）



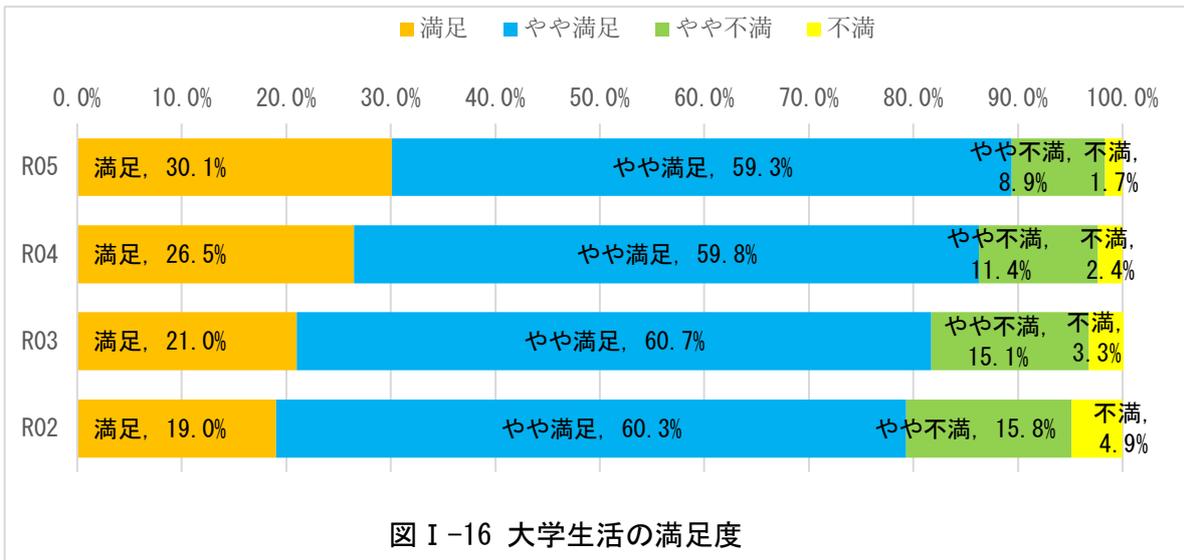
貸与PCのネットワーク環境に不満（やや不満12.8%、不満3.3%）が若干増えた（図 I-15-3）



学修環境の理由と同様か、図書館の利用する機会が増えたことからか、年々満足度が上昇している。（図 I-15-4）



図書館と同様か、年々満足度が上昇している。（図 I-15-5）



大学生生活の総合満足度で「やや満足」に大きな変化はないが、「満足」と答える学生が年々増加している。(図 I -16)